

震災2年後の職能団体として 災害支援の在り方についてのアンケート集計結果(抜粋)

第27回 日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（茨城大会）分科会用資料
一般社団法人熊本県社会福祉士会

配布数	830
返答数	203
回収率	24.5%

I. 基本的な事項についての設問です。

Q1、2、4 性別・年齢・職業分野

	男性	女	合計
20代	5	4	9
30代	24	29	53
40代	30	38	68
50代	17	23	40
60代	12	18	30
70代	2	0	2
無記載	1	0	1
合計	91	112	203

分野	合計
高齢	81
障害	32
医療	18
児童	14
行政	18
その他	35
無記載	5
合計	203

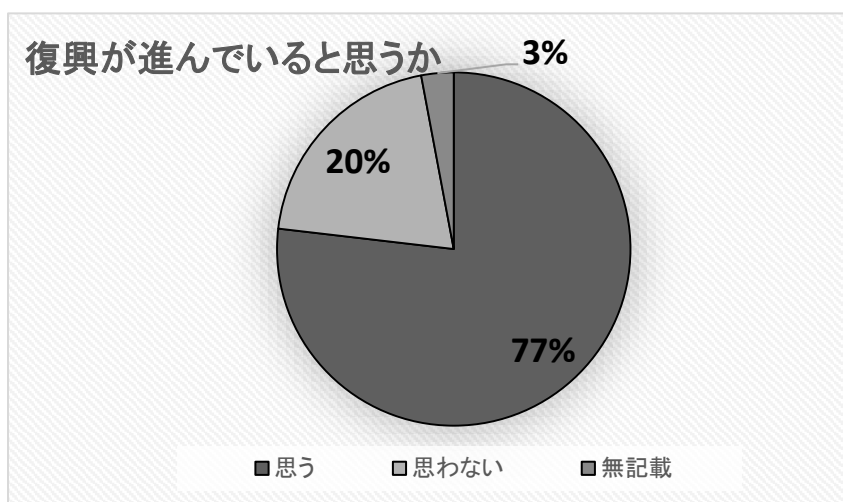
Q3. 熊本地震当時の居住地及び職場の場所を教えてください。

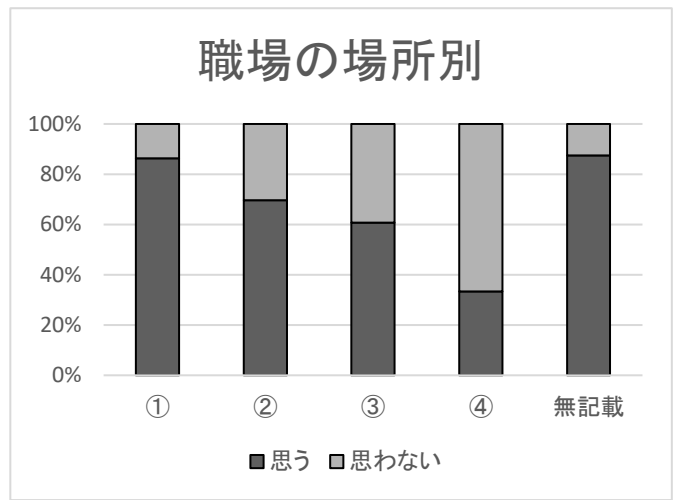
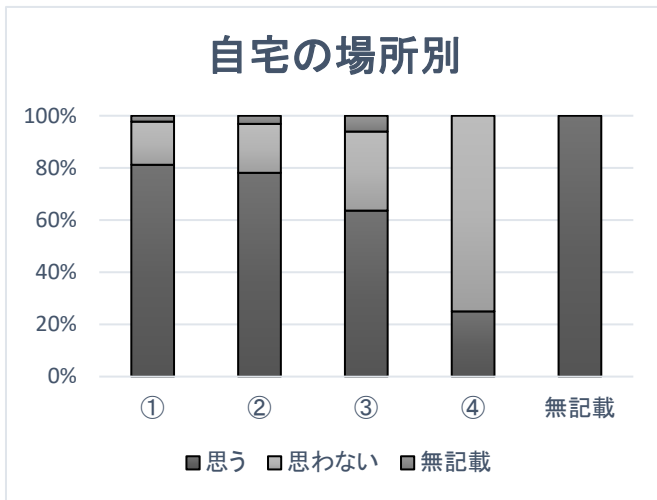
※居住地、職場については、集計上の取り扱いとして以下のようにまとめた。

- ① 応急仮設住宅(建設型)設置市町村、②①に隣接している市町村、③その他の市町村、④県外
 - ①16市町村: 益城町、熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、菊陽町、美里町、大津町、御船町、甲佐町、嘉島町、山都町、氷川町、産山村、南阿蘇村、西原村
 - ②8市町村 : 合志市、菊池市、山鹿市、玉名市、八代市、玉東町、南小国町、高森町
 - ③21市町村: 人吉市、水俣市、天草市、上天草市、荒尾市、苓北町、長洲町、南関町、和水町、小国町、芦北町、津奈木町、湯前町、多良木町、あさぎり町、錦町、球磨村、水上村、山江村、相良村、五木村
 - ④県外: 福岡県のみ

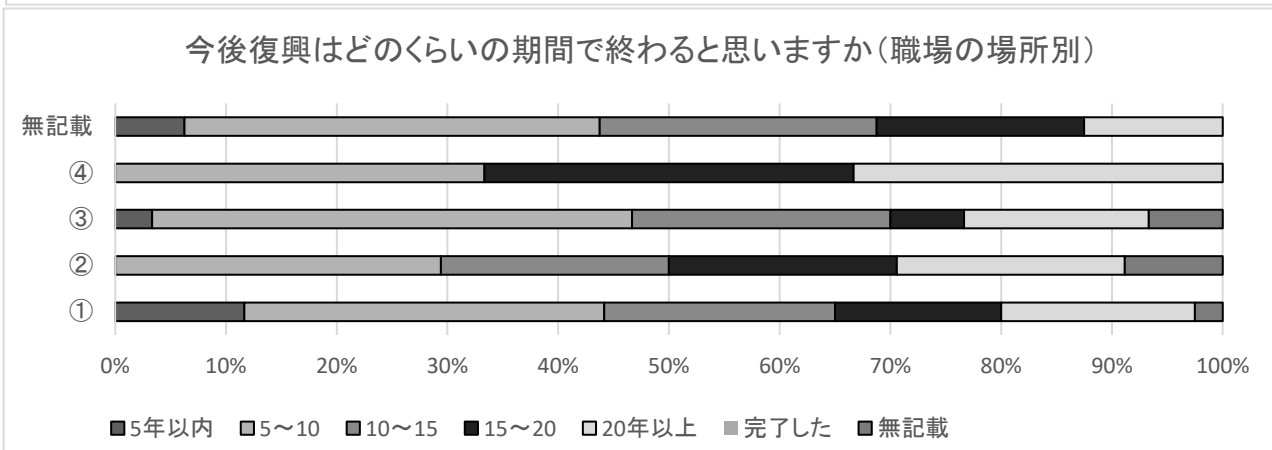
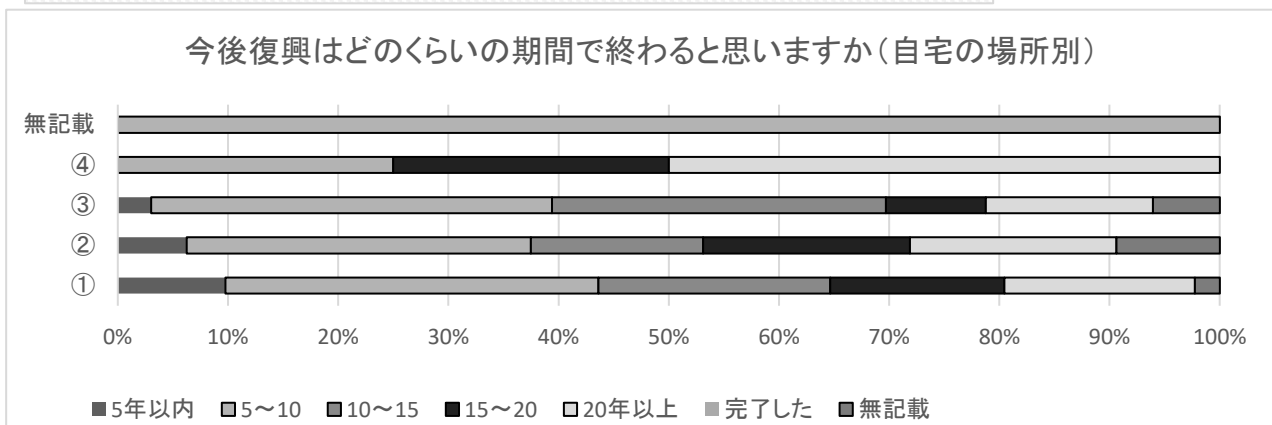
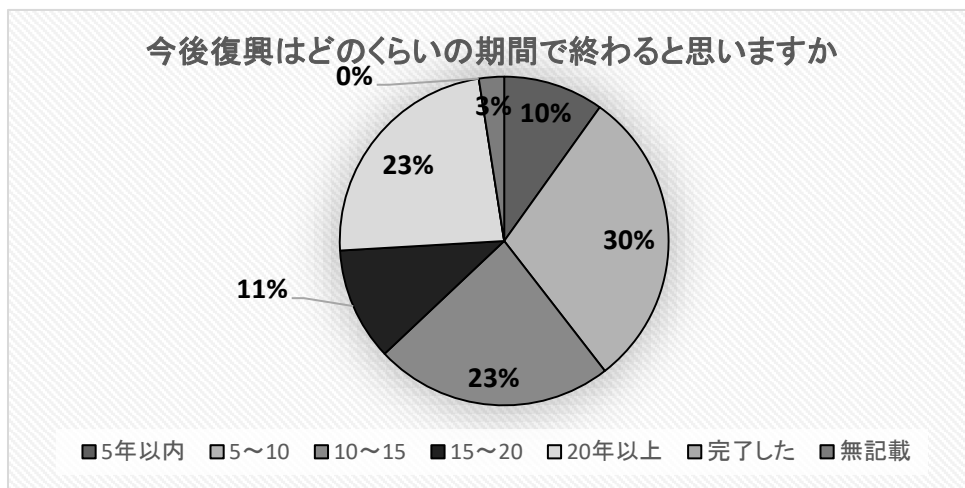
II. 熊本地震から2年を経過した現状についての設問です。

Q6. 震災復興は進んでいると思いますか?

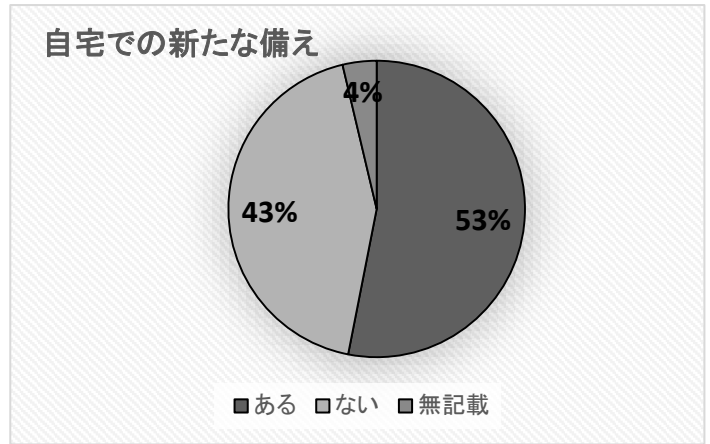
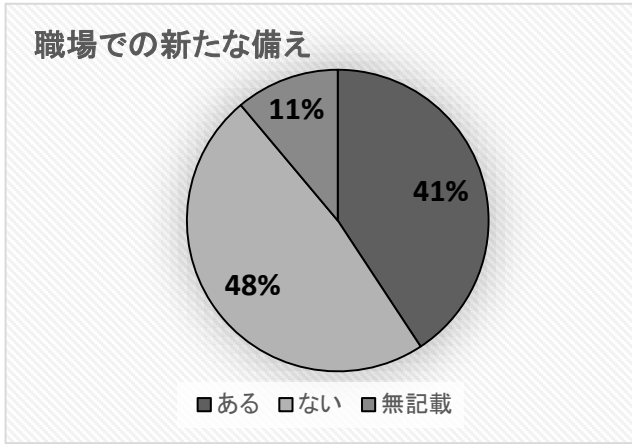




Q7. 今後復興はどれくらいの期間で終わると思われますか？



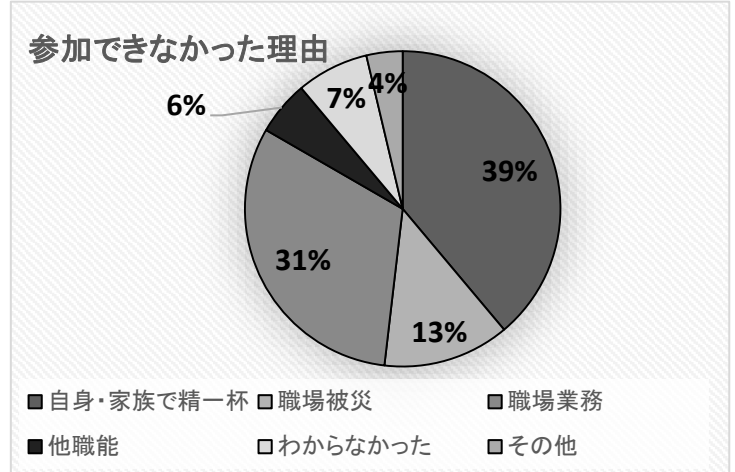
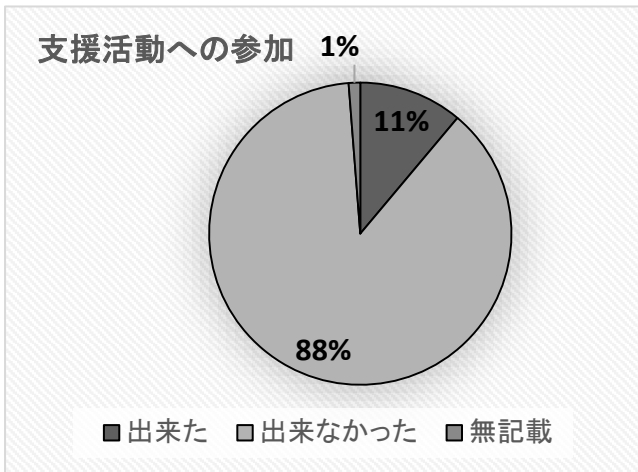
Q8. 震災後の2年で新たに行った災害時の備えは何がありますか？



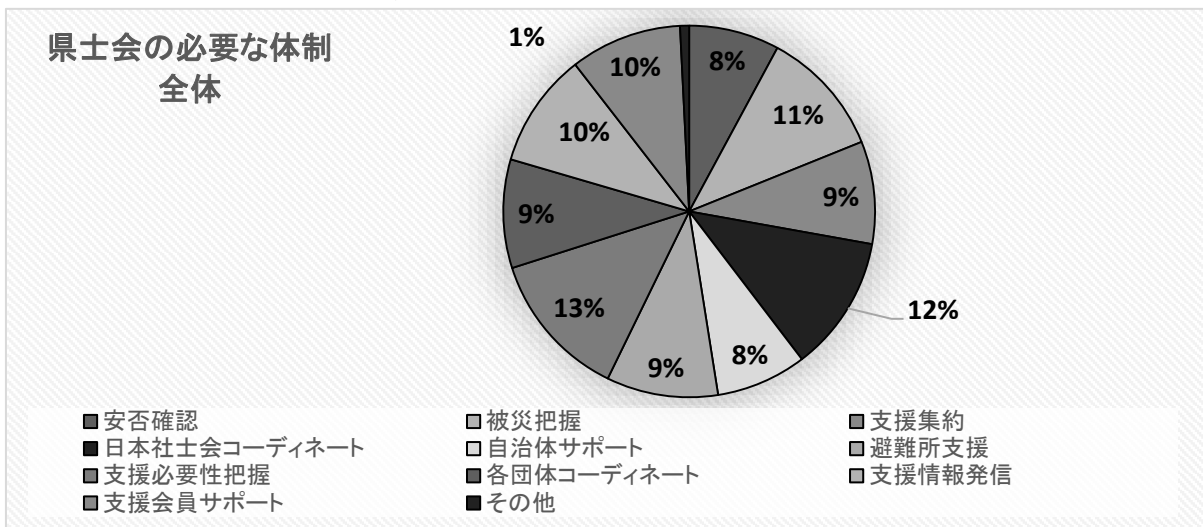
Ⅲ. 県社会福祉士会の災害時の体制にむけての設問です。

Q9. 2016年の熊本地震に関して、熊本県社会福祉士会が行った支援活動に参加することが出来ましたか。

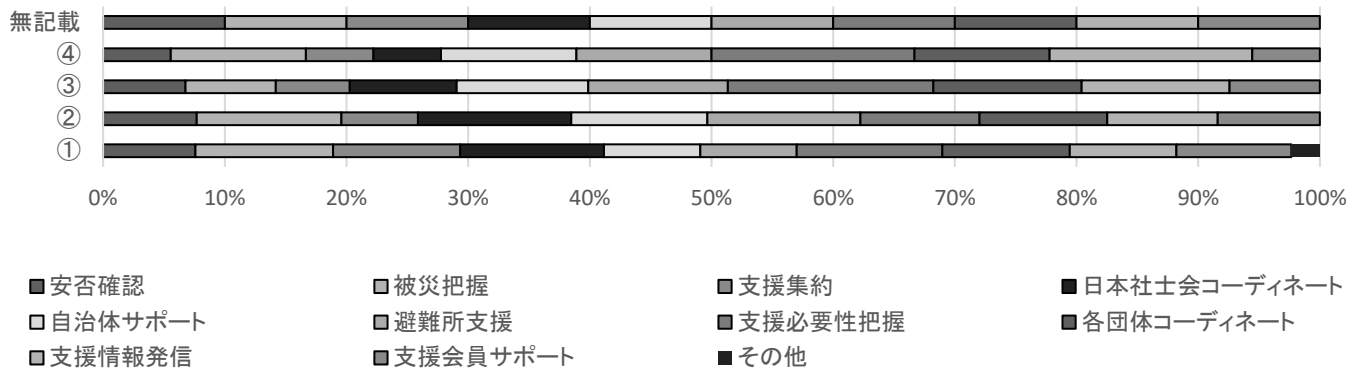
Q9-1. Q9で「参加出来なかった」と回答した方にお尋ねします。参加出来なかった状況をお聞かせ下さい。(複数回答可)



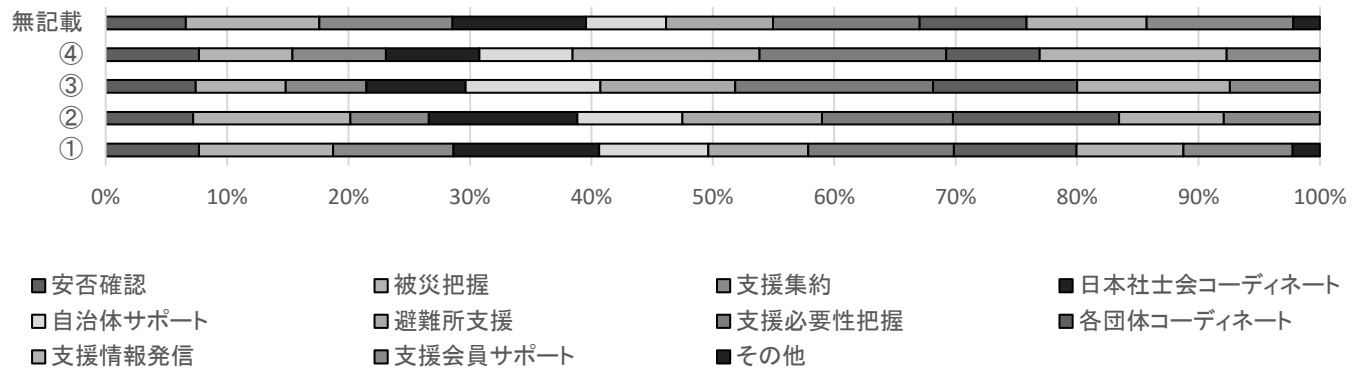
Q10. 熊本県が被災した場合、職能団体として県士会はどのような対応が必要と思いますか。



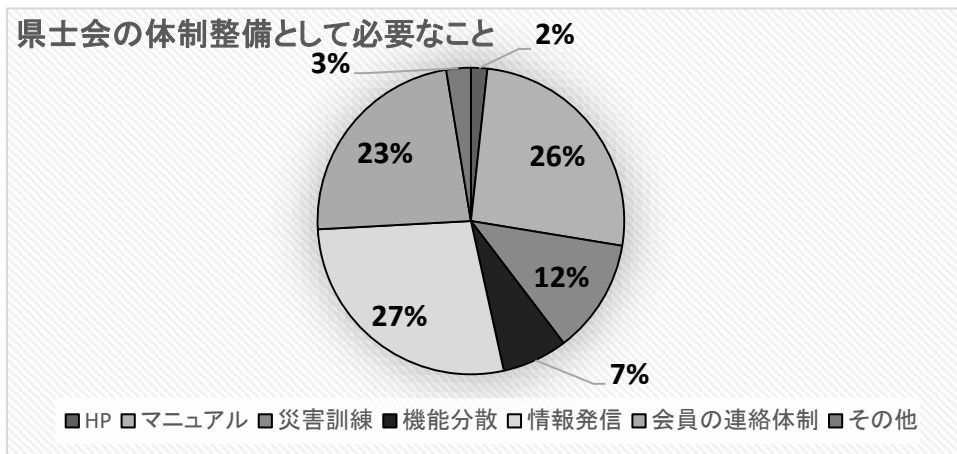
県士会に必要な体制整備被災時の自宅の場所別



県士会に必要な体制整備被災時の職場の場所別



Q11. 今後の災害時に向け、県士会の体制整備として必要だと思う事は何ですか。(複数回答可)



※今回のアンケート結果は、一般社団熊本県社会福祉士会ホームページに掲載しています。